

生物工学分野

Biochemical, Biological and Biophysical Engineering
and related fields

日本生物工学会JABEE特別部会

岡山理科大学

滝澤 昇

JABEE 生物工学分野の歩み

1999 JABEE 設立

2000 生物工学会JABEE検討委員会設立

2003.3 生物工学分野の試行審査分野別要件策定公表

2002～2004 試行審査（3プログラム）

2004.3 「生物工学および生物工学関連分野」発足

幹事学会 日本生物工学会（現JABEE特別部会）

関連学協会 日本農芸化学会、農学会、
化学工学会、日本化学会

2004 崇城大学生物生命学部「応用微生物工学科」

2005 徳島大学工学部「生物工学科 昼間コース」

九州工業大学情報工学部生命情報工学科

「生命情報工学教育プログラム」

2006 鳥取大学工学部生物応用工学科「生物応用工学科」

.....

JABEE 生物工学分野の歩み

プログラム数と修了生数

年度	プログラム数	修了生数	審査員数	審査研修員数	他分野審査へ (団長等を含む)
試行		3		9	8
2004	1	71	3	5	
2005	3	241	6	5	
2006	4	269	6	3	
2007	5	296	3	2	
2008	5	329	2		
2009	5	278	5	6	
2010	6	299	6	5	
2011	5	263	2		
2012	4	218	2	1	
2013	4	237	2		
2014	4	224	6		3
2015	4	253	3	2	2
2016	3	248	4		1
2017	6	421			1
2018	6	373	8		
2019	6	263			
2020	5	278	6	2	1
2021	5	267	3	1	
2022	5	245	2		
2023	5	-	7		
総数	10	5082	85	40	8

技術士 生物学部門の様子

* 日本技術士会 生物学部会30年の歩み(2021年) より引用

1987 バイオ研究会発足 (農業部門7名、化学部門1名)

1988 生物学部門設置告知

1989 生物学部門技術士試験実施 (8名合格)

2023年時点 (生物学部会 東田英毅氏より情報提供)

生物学部門技術士数：363名(第二次試験合格者累計)

内 技術士登録者数：338名

内 JABEE課程修了者：6名

生物学部会の女性比率が高い

正会員で19% (全部門では2%) (2021年時点)

JABEE 生物工学領域の課題とこれから

- プログラム数が累計10（現行5）に止まる
 - ・領域が部分的に化学や化学工学、農学と被る、農学出身の教員が多い
 - 化学や化学工学、一般農学、複合・総合工学領域での受審
- 審査員の構成・世代交代
 - ・生物工学会JABEE特別部会委員 19名（内 企業3名）
 - ・産業界審査員の不足
 - ・審査件数が少なく審査員を育成する機会が少ない



国際的な教育の外部質保証としてのJABEE認定の意義および重要性の
理解・認知の増進
特に生物工学領域は「成長分野」



- ・農芸化学会等との共同でのシンポジウム・審査員研修会
- ・バイオ系学科には女子学生が多い
 - 技術士生物工学部門における女性の割合が高いことから
女子修了生のキャリア（再）構築への有用性を強調

今後に向けて

- 中高生やその保護者への広報活動の充実
 - 教育プログラムの個性で選択
 - ガイドブック、出張授業への講師派遣（技術士会と連携）
 - 出張授業プログラムの整備・公表
- 文部科学省への積極的な働きかけ
 - ITやグリーン、バイオ、量子等の「成長分野」を中心に、**JABEE等の国際的な外部質保証の認証を受けるための組織構築をGP**として予算を割当て
- 経済界への働きかけの強化
 - 修了予定者と企業との懇談の場の設定
 - 修了予定の積極的な採用、就職に有利！
- 各分野に関連する資格認定団体等に、試験(一部)免除制度の導入の働きかけ（分野毎）
- 技術士会との連携強化
 - 技術士会とプログラム修了生との情報交換の場の設定